

DIGITAL AUTO

Remote Control Radio System

RX30 series

受信機取扱説明書

ML0151-3

使用前に必ずお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

製品の取り扱いについて（必ずお読みください）

警告
死にまたは
重傷を負う
おそれか
ある内容

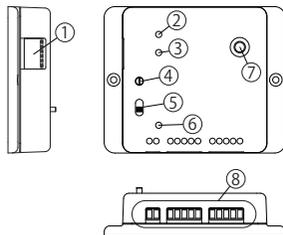
- 本取扱説明書に記載のない条件や環境での使用、及び原子力制御・鉄道・航空設備・車両・燃料装置・医療機器・娯楽機械・安全装置その他、人命や財産に大きな影響が予測されるなど特に安全性が要求される用途へは使用しないでください。
- 周囲環境により、通信が一時的に途絶えることがありますので、リアルタイム制御及び人命やその他の機器・装置に損害を与える用途には使用しないでください。
- 落下させる・物をぶつける・傷つけるなどはしないでください。故障の原因となります。
- 分解・改造はしないでください。故障の原因となります。
- 製品を濡らさないでください。発熱や故障の原因となります。
- 煙が出る・異臭がする・異音がある・発熱するなどの異常が発生した場合すぐに使用をやめ、購入先にご連絡ください。
- 配線はブレーカーを切った状態で行ってください。事故の原因となります。
- 配線は正しく行ってください。誤動作や事故の原因となります。

注意
傷害または
物的損害が
発生する
おそれか
ある内容

- 次の場所への設置はおやめください。故障や事故の原因となるおそれがあります。
 - ・ほこりの多いところや直接水のかかるところ
 - ・高温多湿のため結露しやすいところ
 - ・腐食性ガスや可燃性ガスが発生するところ
- アンテナは専用のアンテナをご利用ください。
- アンテナは金属物等（鉄筋・電柱等）からできる限り離してください。障害物がある場合動作距離が短くなる場合があります。
- 受信機を制御盤などの金属箱内に設置する場合は延長ケーブルを使用し、アンテナを金属箱の外に設置してください。
- 電源電圧は許容範囲内で使用してください。
- 本機を廃棄する時は、産業廃棄物として処理してください。

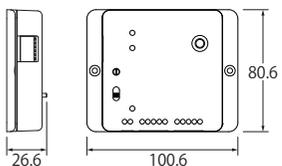
受信機各部名称

- ① モードスイッチ
 - ・ ID コードの登録をするときに使用します
 - ・ 詳細は「ID コードの登録」「モードの設定」「動作範囲の設定」「ID コードの削除」をご覧ください
- ② 動作 LED
 - ・ 受信機の動作状態を表示します
 - ・ 電源スイッチが「ON」のときに点灯し受信機が動作するときに消灯します
- ③ 検知 LED
 - ・ 何らかの電波を検知したときに点灯します
- ④ 設定スイッチ
 - ・ 詳細は「ID コードの登録」「動作範囲の設定」「ID コードの削除」をご覧ください
- ⑤ 電源スイッチ
 - ・ 「ON」にすると、電源が入ります
- ⑥ 電源 LED
 - ・ 電源スイッチが「ON」のときに点灯します
- ⑦ アンテナコネクタ
 - ・ アンテナ取付用のコネクタです
- ⑧ 端子台
 - ・ 電源線及び出力線を結線します
 - ・ 詳細は「結線図」をご覧ください

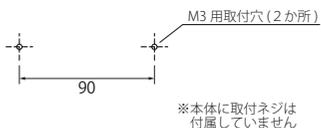


外形寸法・取付寸法

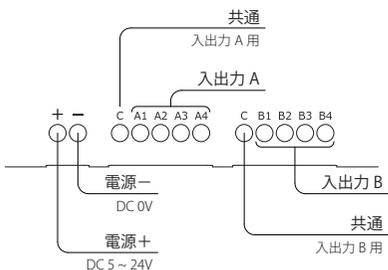
外形寸法



取付寸法



結線図



※本製品に搭載されている端子台の適合電線は **AWG26～AWG16のより線** です。指定以外の電線を使用しないでください。故障の原因となります。

※電源端子に結線をするとき、常に通電している状態になります。作業をされる方は、十分に注意してください。

※端子台のネジは3.5mm マイナスドライバーを使用してください。

ID コードの登録

- ※送信側の ID コードを受信側に登録すると受信側は登録した送信側での操作が可能になります。手順に従い送信側の ID コードを登録したうえで使用してください。
- ※本製品は、双方向通信が可能です。次項の「入出力モードの設定」で②もしくは③を選択する場合は、一度どちらかの ID コードを登録した後、送信側と受信側を入れ替えて再度 ID コードの登録を行ってください。
- ※登録時は、登録作業以外の操作はしないでください。
- ※登録時は、登録作業に使用しない本製品の電源は切っておいてください。
- ※登録時は、必ず本製品にアンテナを取付けた状態で 3m 以内で操作してください。
- ※本操作は必ず登録しようとする製品で行ってください。
- ※登録済の ID コードを再度登録することができます。その際は ID グループが現在あわせられているグループに変更されます。(ID の多重登録にはなりません)

受信側の準備

- ① 電源が切れているか確認してください。
※電源が入っている場合は、電源を切ってください。
- ② モードスイッチを図のように移動させてください。
 ※5番・6番はどちらになってもかまいません
- ③ 設定スイッチで登録したい ID グループ (0~F) にあわせませ。
※下図の左端では、グループ 0 に登録されます。
時計回りに「0」→「1」→「2」→・・・
→「9」→「A」→・・・と進んでいきます。



モードの設定

入出力モードの選択

モードスイッチ 5 番・6 番の設定により、入出力 A 及び入出力 B を任意の設定にすることができます。次の表を参照してください。
1 番～4 番はどのようになっても本設定には影響ありません。

	A1～A4	
	入力	出力
B1	①	②
B4	③	④

※③にあわせた場合、
入出力 A … 入力
入出力 B … 出力
に設定されます。

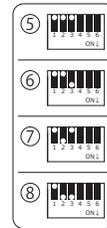
周波数の選択

モードスイッチ 1 番～3 番の設定により、次の 4 種類から選択できます。

※入出力モード①④と②③とで内容が変わりますので注意してください。

※送信側と受信側は同じ周波数設定にしてください。設定が別になっていると、通信できなくなります。

- (1) 入出力モード①④のとき
 - ⑤ キャリアセンス (40 波)
 - ⑥ グループ 1
 - ⑦ グループ 2
 - ⑧ グループ 3
- (2) 入出力モード②③のとき
 - ⑤ グループ 1
 - ⑥ グループ 2
 - ⑦ グループ 3
 - ⑧ グループ 4



送信側の準備

- ④ 電源が切れているか確認してください。
※電源が入っている場合は、電源を切ってください。
- ⑤ モードスイッチを図のように移動させてください。
 ※5番・6番はどちらになってもかまいません
- ⑥ 受信側の電源を入れてください。
受信側が登録モードに入ります。登録モードの間、動作 LED が点滅し、ブザーが「ピーツ、ピーツ」と断続的に鳴ります。
- ⑦ 送信側の電源を入れてください。
登録電波を送信します。登録電波の送信中は、動作 LED が点灯します。
- ⑧ 登録が完了すると受信側のブザーが約 2 秒間「ピーツ」と鳴り、動作 LED がゆっくり 3 回点滅した後消灯します。
続けて登録作業をする場合は、最初から繰り返してください。
※ID コードの登録数が可能台数を超えた場合は、動作 LED が消灯しブザーが「ピッピッ」と短く 2 回鳴ります。

注意

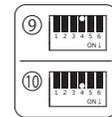
受信機が登録モードの状態のままになっているとブザーが「ピー」と連続して鳴り続け、検知 LED と動作 LED が交互に点滅します。いちど受信機の電源を切り、モードスイッチを任意の設定にしてから電源を入れなおしてください。

- ⑨ 登録作業終了後、設定スイッチを「F」に合わせ、モードスイッチを元の位置に戻してから電源を入れなおしてください。

送信モードの選択

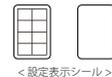
モードスイッチ 4 番の設定により、送信モードを選択できます。
※入出力モードを④に設定した場合は、どちらになってもかまいません。
※入出力モード①と②③とで内容が変わりますので注意してください。

- (1) 入出力モード①のとき
 - ⑨ 随時送信 … 入力信号が有る間、送信します
 - ⑩ 連続送信 … 入力信号の有無に関わらず、常に送信します
 - (2) 入出力モード②③のとき
 - ⑨ 再送信までの間隔 … 長
 - ⑩ 再送信までの間隔 … 短
- ※入出力モード②③を選択した場合はできる限り別々の設定にしてください。



モードの設定方法

- ① 電源が切れているか確認してください。
※電源が入っている場合は、電源を切ってください。
- ② モードスイッチを任意の設定にしてください。
- ③ 電源を入れてください。
※付属の設定表示シールに記入後受信機本体の見やすい場所に貼っておいてください。



ID コードの削除

※受信側に登録済みの ID コードは登録時に設定したグループ毎の削除になります。送信側ごとの個別削除はできません。

① 電源が切れているか確認してください。

※電源が入っている場合は、電源を切ってください。

② モードスイッチを図のように移動させてください。



※5番・6番はどちらになってもかまいません

③ 設定スイッチで削除したい ID グループ (0~F) にあわせませう。

※右図では、グループ 0 が削除されます。

時計回りに「0」→「1」→「2」→・・・

→「9」→「A」→・・・と進んでいきます。



④ 電源を入れてください。

⑤ 受信機が削除モードに入り、約 1 秒後に動作 LED が点灯します。

⑥ 4 秒以内に、モードスイッチを右図のよう



に移動させてください。
※4 秒以上経過すると、ブザーが「ピッピッ」と短く 2 回鳴り削除モードが終了します。①の手順に戻り、再度作業を進めてください。

⑦ 削除が完了すると受信機のブザーが「ビー」と約 2 秒間鳴り、動作 LED が 6 回点滅した後消灯します。続けて作業される場合は、①の手順から繰り返してください。

⑧ 削除作業終了後、設定スイッチを「F」にあわせ、モードスイッチを元の位置に戻してから電源を入れなおしてください。



受信機が削除モードの状態のままになっているとブザーが「ビー」と連続して鳴り続け、検知 LED と動作 LED が交互に点滅します。いちど受信機の電源を切り、モードスイッチを任意の設定にしてから電源を入れなおしてください。

動作範囲の設定

操作可能な最大範囲を設定することで、「遠距離からの操作」や「見える範囲でのみの操作」に限定することができます。

● ④設定スイッチの切り欠き部分を、ケースの「▼」印に合わせたとき、「0」設定で動作距離が最小となります。

● 更に時計回りに「0」→「1」→「2」→・・・「9」→「A」→・・・と進み、「F」設定で動作距離が最大となります。



延長アンテナケーブル (オプション) の取付について

※アンテナケーブルは、購入時付属のものを必ずご使用ください。弊社指定以外のアンテナケーブルを使用することは、法律で禁じられています。

※また、アンテナケーブルが購入時に付属していない場合、アンテナケーブルがない状態で必ずご使用ください。

本製品の納入後に、弊社以外で購入したアンテナケーブルを無断で取付け使用することは、法律で禁じられています。

● アンテナは操作される位置から見通しがよく、地面より 1.5m 以上の高さに取り付けてください。

● 壁を貫通させてアンテナケーブルを屋外に引き出す場合、ケーブル保護のためパイプを使用してください。

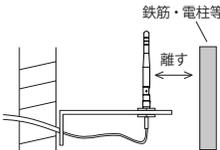
● アンテナは、組み込みネジでアンテナ金具にしっかりと固定してください。

● 受信機からのアンテナケーブルは無理に引っ張らないようにしてください。

● アンテナケーブルは途中で切断したり余分なケーブルを束ねたりしないでください。

● アンテナケーブルは電源線・高圧線・インバーター・DC モーターなどのノイズ源からできる限り離してください。

● アンテナ及びアンテナケーブルは弊社指定品を使用してください。



主な仕様

・使用周波数帯 429MHz 帯

・使用周波数 40 波もしくは 10 波 ×3 グループのうち切換え

・入力定格 Low レベル：-0.3~1.0V、High レベル：3.6~5.0V

・出力定格 DC30V 100mA (オープンコレクタ出力)

・電源電圧 DC5 ~ 24V

・消費電流 80mA 以下

・動作温度範囲 -10 ~ +60℃

・動作湿度範囲 30 ~ 80%(結露・氷結なきこと)

・登録可能台数 250 台

※250 台を超えると登録できません

故障かな? と思ったら

動作しにくくなった・動作しなくなったと感じたら、下記内容を確認してください。

・送受信機の電源は入っていますか?

・正しく配線されていますか?

・近距離で正常に動作しますか?

・アンテナの設置場所に問題がありませんか?

・アンテナとケーブルの締め付けが緩くなっていませんか?

・アンテナケーブルが断線またはかみ込んでいませんか?

・周囲にモーターなどのノイズ源がありませんか?

・別の送信機で正常に動作しますか?